

内側から咲かせるすばらしさ

校長 石村直義

中学の国語の教科書に、作家の大岡 信さんの文章が載っています。志村ふくみさんという染色家から、美しい桜色に染まった糸で織った着物の美しいピンク色が、桜の花びらからではなく桜の木の皮から取り出した色であるということを聞き、花びらのピンクは幹のピンクであり、樹液のピンクであり、桜は全身で春のピンクに色づいていて、花びらはそれらのピンクがほんの先端だけ姿を出したにすぎなかった、と書いています。（『言葉の力』）

最近、シリアスな演技で定評のある有名な女優さんが、撮影スタッフにもよく気配りをされ、いつも丁寧な対応で接し、撮影の現場の雰囲気をとてもよいものにしているということを知りました。テレビドラマや映画などで迫真の演技をされている彼女が、自分のことばかりでなく、作品制作者の一人として、みんなで作りに上げていくという姿勢を普段から周囲にも表して取り組まれているということが伝わってきました。俳優さんの演技はつくられたものではありませんが、その方ご自身が表すものは、演技であっても、内側から湧き出たものがあらわれているのだな、と思った次第です。

普段の何気ない言葉や行動は、その人自身を表し、接する相手の印象に残ります。ちょっとした気遣いが言葉や行動に自然に表れる人というのは、これは意図して行ったものではなく、その人の内側にいつも流れている想いから来るのでありましょう。

2月4日、立春を迎え、菜の花や水仙を目にするようになりました。寒さはまだ厳しいですが、三学期も半ば、3年生は卒業の時です。中高生の皆さんが、日々重ねた学びや熱心な活動、周囲の人たちとの交わりなどによって内側が豊かにされ、これからの長い人生の歩みにおいて人として美しく輝き続けることができますようにと願ってやみません。

5月 中学ダンス発表会
2月 高Ⅱ代休
1日 英検（二次）

3月行事予定

27日 金 中1・3学特別行事
25日 水 中2修学旅行（27日）
24日 火 高Ⅱ修学旅行（28日）
23日 月 中1・3学年末考査（26日）
19日 木 中2学年末考査（24日）
天皇誕生日

17日 火 高Ⅱ学年末考査（20日）
13日 金 高校卒業式（式典出席者以外は自宅学習）
12日 木 高校卒業礼拝
11日 水 学年末考査時間割発表（中2）
建国記念の日
10日 火 高Ⅲ登校日（12日）
学年末考査時間割発表（高Ⅱ）

2月行事予定



高校卒業生に贈る言葉



吉田先生 A組(英語科)担任

英語科のみなさん、3年間よく頑張りました。一人ひとりが英語力を確実に伸ばしただけでなく、物事を多角的、多面的に捉える力も備わりました。みなさんの発想力の豊かさに感心し、楽しませてもらいました。4月から新たな場所で、新しいことをどんどん吸収してください。英語以外の外国語を勉強したり、英語圏以外の国にもぜひ行ってほしいです。自分を大切に、隣りの人も大切に、自信を持って歩みましょう。応援しています。



馬場先生 B組(総合進学コース)担任

高校Ⅲ年生のみなさん、三年間の学び、おつかれさまでした。この三年間、楽しいことだけでなく、悩んだことや苦しんだこともあると思います。それでも、歩み続けたみなさんの力は、必ずこれからの人生の役に立つと信じています。みなさんの人生はこれからまだまだ長く、大変なこともあるかと思いますが、その道が希望にあふれていることを信じて「前程万里」という言葉を送りたいと思います。



内田先生 (高Ⅲ副担任)

ご卒業おめでとうございます。これから、それぞれの道に進む中で、この学校で過ごした大切な仲間との思い出を胸に、新天地でも頑張ってください。私は今年赴任してきたばかりで、わからないことや不安なことがたくさんありましたが、Ⅲ年生のみなさんはそんな私に対して優しく接して下さったことを私は忘れません。1年程の短い時間ではありましたが、みなさんと出会えたことを心から良かったと思います。みなさんの門出に素晴らしい祝福が訪れることを祈っています。

古田先生 (キャリア形成支援部長)

皆さんと過ごしたお掃除の時間は、本当に楽しいひと時でした。その明るさとまっすぐな気持ちは、これからの皆さんの道をきっと照らしてくれるでしょう（笑）。皆さんの新しい旅立ちを心から応援しています。またいつかお会いできる日を楽しみにしています！！

武富先生 A組(特別進学コース)担任

いよいよ卒業の時が近づいてきました。数学担当として3年、担任として2年共に過ごした毎日、特にこの1年は不安を感じながらも未来に向けての熱い思いを聞かせてもらい、たくさん勇気とエネルギーをもらいました。かけがえない日々を一緒に過ごせたことに感謝しています。これからの新生活へ不安も少しありつつも、新たな出会いにワクワクする想いはみんなと同じく私にもあふれています。13人プラス1人で、共に2月13日に胸を張って活水を卒業していきましょう！



奥山先生 C組(総合進学コース)担任

ご卒業おめでとうございます。「世界には、あなたが知らない歴史以外には新しいものは何もない」という言葉があります。活水で学んだことや経験をベースに、卒業後、様々な学びを通し、新しいこととたくさん出会って下さい。皆様の豊かで実りある人生を遠くから祈っています。皆様の高校時代を共に活水で過ごせたことに感謝です。ありがとう！



増田先生 D組(総合進学コース)担任

ご卒業おめでとうございます。人生には3つの「坂」があるそうです。上り坂・下り坂・まさか（ま坂）！！これから皆さんはこの3つの坂を幾度となく経験されることでしょう。それぞれ人生の醍醐味。まさかを上りするか下りにするかは自分次第！今後のご活躍を楽しみにしています。



人権教育

長崎市人権男女共同参画室の内野莉奈先生と長崎市国際課の田中健先生をお迎えして、「誰もが尊重される社会へ～外国人の人権と多文化共生～」についてお話をうかがいました。グローバル社会を生きていく生徒にとって良い機会となりました。以下は生徒の感想文の一部です。（北見さとみ）

○多文化共生において、大切なことは不適切な言動をしない、一人ひとりの個性を尊重し異なる習慣を知ることだとわかりました。外国人の人権を守ることは、自分たちの人権を守ることにつながることで、全ての人が生まれながらに持っている人権を大切に、平等で暮らしやすい世界になってほしいと思います。（松山ひより）

○外国人に対して言葉が通じないからと諦めるのではなく、分かりやすく優しく説明することが必要だと思いました。また偏見はヘイトスピーチにつながるので気をつけたいと思いました。日本に生きる外国人はそれぞれの文化をもっています。「多文化共生」という言葉を体現できるように、相手の文化を尊重し共生できるようにになりたいと思いました。（日高咲季）

○今日の講演を聞いて、まず相手の立場に立って歩みよることが大切だと思いました。グローバル化が進む社会の中で、私自身が外国人を差別する可能性があることに気づきました。全ての人に人権があることを改めて学びました。同様に自分の文化を否定し相手の文化を受け入れることが多文化共生ではないとわかりました。不当な差別を受けている人々の助けとなる人になりたいと思いました。（元川真理子）

九州弁論大会 優秀賞

12月12日（金）～13日（土）に沖縄県で開催された、第9回全九州高等学校総合文化祭沖縄大会【弁論部門】において、ⅡA安元萌愛さんが優秀賞を受賞しました。以下は受賞した安元さんのコメントです。（安元和愛）

私は県大会後の新聞社のインタビューで「考えてきたことが相手に伝わる弁論をしたい。結果はその後についてくる」と話しました。九州大会当日、弁論を終えた直後に韓国の方が声をかけてくれ、私の内容に対する意見と励ましを伝えてくれました。正直、それまで私は自分の弁論がどれほど届くのか不安でした。しかし、一人でも真剣に受け止めてくれる人がいるとわかった瞬間、胸の中だけにあった想いが人とつながり、弁論として完成したように感じました。この実感を忘れず、全国大会でもしっかり届けたいです。（安元萌愛）



大会等成績

＜中学吹奏楽部＞
長崎県アンサンブルコンテスト
中学生の部 金賞・県代表

＜高校吹奏楽部＞
長崎県アンサンブルコンテスト
高等学校の部 金賞・県代表

＜高校卓球部＞
日名子杯争奪卓球大会
高校女子 第3位 活水(B)

＜高校バドミントン部＞
西田杯・桑原杯・田中杯争奪クラブ対抗
バドミントン大会
1部 準優勝 庄司千代
2部 優勝 宗田瑞央・山添佳英
(岩永崇史)

吹奏楽部 知事表敬訪問

1月13日（火）長崎県大石知事にW全国金賞の報告をすることができました。

知事からは「本当に素晴らしい快挙ですね！これからも頑張ってください。応援しています」と言っていただきました。来年度もまたうれしい報告ができるように頑張っていきたいと思います。



(杉町たまみ)

留学生～中国から～

気がつけば、日本に来て五ヶ月が過ぎていました。最初は知らないことだらけで、そわそわしていました。でもいつの間にか、ここの空気に溶け込んでいる自分がいました。何よりありがたかったのは、ここの人たちの当たり前の優しさです。何かを求めなくても、何かを言わなくても、必要なときには自然と支えがそこにありました。そういう場所にいられるというのは、本当に幸せなことだと思います。

まだまだ学ぶことは多いですが、焦らなくていいんだと思えます。このまま、ゆっくりと時間が過ぎていくことを感じながら、残りの日々を過ごしていきたいと思います。今、ただここにいられることに感謝しています。（楊思涵）



(国際交流基金 国際対話部 心連心 中国高校生長期招へい事業第17期生)

放送部 定期演奏会 アナウンス

12月27日（土）に開催された、活水中学校・高等学校 第11回定期演奏会のアナウンスをⅠA伊東和々花さん、ⅢB福田優奈さんが務めました。Ⅰ年生からアナウンスを務めた、福田さんにコメントをもらっています。（馬場彬）

○「Ⅰ年生の頃は先生からも指摘されることが多くあまり自信がなかったのですが、3年間させていただいて今年は自信を持って楽しく司会をすることができました。なにより自分の仲の良い友人たちの最後の舞台を手伝えたことがいちばん嬉しかったです。吹奏楽部の皆さんがいなければこのような貴重な体験をすることはできませんでした。感謝の気持ちでいっぱいです。そして司会を任せてくださった杉町先生、江口さん、顧問の馬場先生、ボイストレーナーの岩永先生本当に今までありがとうございました」（福田優奈）

長崎県ソフトバレーフェスティバル

長崎県ソフトバレーフェスティバルが12月7日小浜体育館で行われました。10代～60代までの幅広い年齢のチームが集まり、活水は学年ごとのチームを作って参加しました。予選リーグ、決勝トーナメントと行って、Ⅲ年生チームとⅡ年生チームが勝ち上がり、活水同士の決勝戦は技術に勝るⅢ年生チームが勝ち優勝、Ⅱ年生チームが準優勝でした。生徒にはいろいろなバレーボールがあることを体験できる良い機会となりました。（平野智也）



今月の聖句

「わたしを強めてくださる方のお陰で、わたしは全てが可能です」
フィリピ4章13節

アメリカの神学者にラインホールド・ニーバー(1892～1971)がいます。第二次世界大戦中、1943年の彼の祈りを紹介します。いくつか訳がありますが、大木英夫訳です。「神よ、変えることのできるものについて、それを変える勇気を私たちに与えてください。変えることのできるものについて、それを受け入れる冷静さを与えてください。そして、変えることのできるものと、変えることのできないものとを識別する知恵を与えてください。（北見さとみ）